

図書館だより

平成24年7月号

発行：せたな町情報センター
瀬棚図書センター
大成図書館

<図書館夏まつりのお知らせ>

- ◆ 場 所：大成図書館児童室
- ◆ 日 時：8月5日(日)10時30分～
- ◆ 内 容：絵本の読み聞かせや外での遊び、お昼は外で流しそうめんを皆で食べたいと考えています。詳しくは図書館内のチラシをご覧ください！



※参加費は1人300円です！（0～2才児無料）

【七夕のつどいの様子】



7月1日(日)『七夕のつどい』を図書館の児童室で行いました。今年は14名も参加してくれて、賑やかで楽しく過ごせました。はじめに紙芝居の読み聞かせをしてから、笹の葉に付ける、飾りをみんなで作りました。色とりどりの折り紙にハート型・ほし型・ちょうちん・ふきながしなど、たくさんの飾りができました。最後に短冊にお願いごとを書きました。一人で3枚も書いていた子どももいました。みんなの願いが叶うといいですね！作った飾りや短冊に糸を付けて、全員で笹の葉に飾り付けをしました。7月中、図書館に飾っております。どんなお願いをしたか、見に来てくださいね。

<各施設の催し>

◆情報センター／おはなしひろば（ピノキオの会）

- ・日 時：8月25日（土）午後2時00分～
- ・内 容：絵本の読み聞かせやミニゲームなどをします。

〔 図書館の本の返却についてのお願い 〕

図書館から本を借りて、期限内に返却されない方が多くみられます。理由があり返却が遅くなる場合は電話で連絡くだされば延長できますので（新刊書・予約が入っている本は除きます）返却期限の確認をお願いします。図書館では年間30冊くらい返却されない本があります。声をかけたりしていますが返却されていません。これからは少し厳しく返却を求めたいと考えております。図書館の本は町民の税金からでています。大切な本ですので、利用する方も大切に扱ってほしいと願っています。※本を無くしたり破損された場合は弁償していただきます。

<わたしのとびっきりの一冊>

図書館に勤務して8年目を迎えました。この間、多くの本との出会いがありましたが、とても感動した本、おもしろかった本などもたくさんありました。その一部をご紹介します、ぜひ皆さんにも手にとっていただきたい本をご紹介します。（大成図書館 佐藤）

※「あなたが愛した記憶」・ 本田 哲也 著…拉致監禁。両手親指切断。暴行、そして扼殺。あまりに残虐な連続OL殺人事件が世間を賑わせていたとき、ひとりの女子高生が俺の前に現れた。「私、たぶん犯人知ってる」。そうだとしたら何？私をどうするの？私を殺す？あなたに私を殺せる？ノンストップ恋愛ホラーサスペンス。

※「ずっとずっといっしょだよ」・宮西 達也 著…弱虫でひとりぼっちのティラノサウルスは、空からまいおりにきたプテラドンの女の子プノンと一緒にいたいと想い…。心温まる友情物語。

<8月の各施設の開館情報>

せたな町情報センター（北檜山区北檜山266番地 TEL 0137-84-5342）

◆開館時間：10時～19時（小学生は17時・中学生は18時まで利用できます）
（年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く）

◆休館日：8月6日（月）・13日（月）・20日（月）・27日（月）

瀬棚図書センター（瀬棚区本町728番地2 TEL 0137-87-3901）

◆開館時間：10時～17時

◆休館日：8月6日（月）・13日（月）・20日（月）・27日（月）
（年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く）

大成図書館（大成区都386番地 TEL 01398-4-6161）

◆開館時間：10時～17時

◆休館日：ありません（年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く）
（正午から午後1時までは閉館しております。）

おすすめ本

大成図書館

- ◆『ビブリア古書堂の事件手帖 ①～③』 三上 延 著 (一般書)
鎌倉の片隅でひっそりと営業をしている古本屋「ビブリア古書堂」。その店主は古本屋のイメージに合わない若くきれいな女性だ。残念なのは、初対面の人間とは口もきけない人見知り。接客業を営む者として心配になる女性だった。だが、古書の知識は並大抵ではない。人に対してと真逆に、本には人一倍の情熱を燃やす彼女のもとには、いわくつきの古書が持ち込まれることも、彼女は古書にまつわる謎と秘密を、まるで見てきたかのように解き明かしていく。これは“古書と秘密”の物語。
- ◆『残穢』 小野 不由美 著 (一般書)
畳を擦る音、赤ん坊の泣き声、床下を這い廻る気配……怨みを伴う死は「穢れ」となり、新たな怪異の火種となるのか。著者9年ぶり、書き下ろし長編ホラー。
- ◆『白ゆき殺人事件』 湊 かなえ 著 (一般書)
疑惑の女性の周囲をとりまく、「噂話」の嵐「あの事件の犯人、隣の課の城野さんらしいよ……」美女OLが惨殺された不可解な事件を巡り、一人の女に疑惑の目が集まった。噂が噂を増幅する。果たして彼女は残忍な魔女なのか、それとも……。
- ◆『ラスト・コード』 堂場 瞬一 著 (一般書)
父親が殺された少女を自宅に送る途上、襲撃を受けた刑事。狙いは自分か？彼女なのか？若手刑事と天才少女の逃避行が始まる。
- ◆『確証』 今野 敏 著 (一般書)
警視庁捜査三課のベテラン刑事・萩尾と、捜査一課に憧れを抱きつつも萩尾を慕う女性刑事・秋穂が強盗殺人事件の捜査で奮闘する。
- ◆『ケルベロスの肖像』 海堂 尊 著 (一般書)
「東城大学病院を破壊する」—送られてきた一通の脅迫状。田口&白鳥は病院を守ることができるのか。エーアイセンター設立の日、何か起きる。愚痴外来の医師・田口公平&厚生労働省の変人役人・白鳥圭輔の凸凹コンビが、大学病院内で次々に起こる難事件に立ち向かっていく、大人気メディカル・エンターテインメント・シリーズ、いよいよフィナーレへ。
- ◆『静おばあちゃんにおまかせ』 中山 七里 著 (一般書)
お手柄続きの葛城刑事。でも実は事件を真相に導くのは、恋人の女子大生と元裁判官の彼女の祖母だった？異色の探偵コンビ誕生。
- ◆『スピリチュアル護身ブック』 江原 啓之 著 (一般書)
悪しき縁との決別こそ幸福を招く最強の護身法。迷惑な人、家族、恋愛、仕事、災害、あらゆる厄災から身を守る術43。「御神刀守」付き。
- ◆『てるちゃんのかお』 藤井 輝明 著 (児童書)
「てるちゃんはてるちゃん。てるちゃんのいいところを、いっぱいおぼしていきの」海綿状血管腫という病気で、顔に大きなこぶのあるてるちゃん。いじめや差別をうけてきたてるちゃんに、ずっとそういつづけてきたお母さんは…。「あなたは顔で差別をしますか」
※ 推薦図書です。各学年ごとに何冊か購入しましたので、夏休みにぜひ読んでみて下さい。
- ◆『ガリガリ君の大ぼうけん 全3巻』 (児童書)
国民的人気キャラクター、「ガリガリ君」がついに絵本に！ 妹のガリ子ちゃんといっしょに海に山に空にガリガリ君が大活躍。
- ◆『NARUTO 61巻』 岸本 斉史 著 (コミック)7月27日発売
- ◆『ONE PIECE 67巻』 尾田 栄一郎 著 (コミック) 8月4日発売

※発売日前・予約中のものもありますので、図書の有無については各施設にご確認下さい

<情報センター>

- ◆『尋ね人』 谷村 志穂 著 (一般書)
その男は、ある日突然に「消えた」——母の元恋人を捜す娘が見つけた、切なすぎる真実。昭和二十七年。何の前触れもなく姿を消し、二度と戻らなかった恋人。それから五十年…末期ガンを宣告された母に代わって消えた男を捜す娘は、いつしか母の想いに諦めたはずの自分の恋を重ねはじめ。函館の街を舞台に、昭和と平成、二つの時代を挟んで向き合う二組の恋人たちの行き着く先は——衝撃の結末が胸を揺さぶる渾身の恋愛長編。
- ◆『トッカン vs 勤労商工会』 高殿 円 著 (一般書)
特別国税徴収官(略してトッカン)の鏡が税務署の天敵・勤労商工会に訴えられる? 鬼上司のピンチにぐ一子は? 好評の第2弾登場!
- ◆『遠くでずっとそばにいる』 狗飼 恭子 著 (一般書)
27歳の朔美は、会社を辞めた日に事故で10年分の記憶を失った。高校時代の部活仲間を頼りに思い出を辿っていくが、浮き彫りになるのはどこまでも孤独な自分。会いたい人がいるはずもない彼女に贈られた、差出人不明のバースデーカードは、思いもよらない事故の真実を明らかにする…。人を愛しぬく苦しみと切なさを描いた感涙の恋愛ミステリー。
- ◆『あさになったので まどをあけますよ』 荒井 良二 著 (児童書)
なにげない日々のくりかえし、そのなかにこそあるたしかな希望、生きることのよろこび、きみのまちははれてるかな。大気にみなぎる光と気配、風景の力を描く荒井良二のあらたな傑作。3歳から。
- ◆『あかにんじゃ』 穂村 弘 著 (児童書)
あかにんじゃはまっかなにんじゃ。ひみつのまきものをねらっておしろにしのびこんだけど、まっかなすがたはとつてもめだってしまう。「くせものだー、であえ、であえー」。赤忍者がお城に忍び込みますが、真っ赤な姿はすぐに見つかります。ドロンドローン。変身上手な赤忍者が活躍する痛快娯楽活劇!

<瀬棚図書センター>

- ◆『白ゆき姫殺人事件』 湊 かなえ 著 (一般書)
疑惑の女性の周囲をとりまく、「噂話」の嵐。「あの事件の犯人、隣の課の城野さんらしいよ…」美女OLが惨殺された不可解な事件を巡り、一人の女に疑惑の目が集まった。噂が噂を増幅する。果たして彼女は残忍な魔女なのか、それとも——。
- ◆『話虫干』 小路 幸也 著 (一般書)
とある町の図書館に出没する話虫(はなしむし)。漱石「こころ」のなかに入り込み名作はメチャクチャに。架空の物語世界を舞台に図書館員たちの活躍が始まる。
- ◆『魂に響く108の言葉』 今西 恭晟 著 (一般書)
どんなに時流が変わっても、変わらないものがあります。原理原則です。事業家・今西恭晟がこれまでに会った原理原則に裏打ちされた108の言葉——。そのご縁を綴った書です。
- ◆『マジックツリーハウス<32> アルプスの救助犬バリー』
メアリー・ポープ・オズボーン 著 (児童書)
本の世界に連れていってくれる魔法のツリーハウスで、ジャックとアニーは多くの国へ冒険に出かけていた。ふたりは、ペニーの魔法を解くために、アルプスへ“白と黄色の花”をさがしに行くが、着いたとたん雪崩にまきこまれ、雪の中にもまれてしまう。
- ◆『でる でる でるぞ』 高谷 まちこ 著 (児童書)
おじいさんとおばあさんと猫のマツが住む屋敷は、じつは、化け物屋敷。ある晩、何も知らない盗人たちが盗みに入って、屋敷の中を物色していると、どんどろべえ! たくさんの種類の化け物たちが登場するシーンは圧巻です。